

(注) 1 必要な仕様は、別紙に具体的に書き入れること。
2 受注業者は、作業前に校正責任者と打合せを行うこと。
3 リサイクル適性の表示が必要な印刷物（上記グリーン購入【判断基準】(3)を参照）については、受注業者は速やかに資材確認票を出納局入札用度課に提出すること。

（別紙１）発送・納品先

- ・【発送先・納品先内訳①】については、91カ所への発送費用を含むものとする。
なお、発送に当たっては、発送先ごとに必要数を仕分けし添書を同封すること。
 - ・【発送先・納品先内訳②③】については、配布先ごとに仕分けし、ふくしま幼児教育研修センターへ納品すること。
- なお、配布先ごとの部数は（別紙３ 発送先）一覧の「仕分け部数」のとおり
- ・納品時に、印刷物と同じものをPDFファイルとして納品すること。

【発送・納品先内訳】

① 仕分け・発送 ４８６部（９１カ所） ※詳細は「別紙２ 郵送先」のとおり

発送先	配布部数	発送箇所
文部科学省初等中等教育局幼児教育課	5	1
こども家庭庁成育局成育基盤企画課	5	1
私立幼稚園	425	85
私立小学校	51	4
小計	486	91

486

② 仕分け・納品【ふくしま幼児教育研修センターへ】 ８６６４部

（地教委各3部、保健福祉部各3部、幼児教育施設各5部、小学校・公立特別支援学校各4部＋学級数）

配布先	配布部数	配布先	配布部数	配布先	配布部数
福島市	1084	白河市	306	金山町	24
川俣町	41	西郷村	105	昭和村	19
伊達市	270	中島村	37	南会津町	105
桑折町	65	矢吹町	89	下郷町	44
国見町	35	泉崎村	52	桧枝岐村	14
二本松市	335	棚倉町	74	只見町	47
大玉村	57	塙町	47	新地町	56
本宮市	183	矢祭町	33	相馬市	193
郡山市	1296	鮫川村	23	南相馬市	248
須賀川市	372	会津若松市	501	飯館村	25
鏡石町	71	磐梯町	36	浪江町	21
天栄村	55	猪苗代町	48	葛尾村	18
石川町	42	喜多方市	310	双葉町	29
玉川村	37	北塩原村	38	富岡町	32
平田村	34	西会津町	24	檜葉町	24
浅川町	32	会津坂下町	61	広野町	23
古殿町	24	湯川村	38	大熊町	27
田村市	162	柳津町	34	川内村	23
三春町	102	会津美里町	91	いわき市	1397
小野町	32	三島町	19		
小計	4329	小計	1966	小計	2369

8664

③ 仕分け・納品【ふくしま幼児教育研修センターへ】 ８５０部

配布先	配布部数	配布先	配布部数	配布先	配布部数
教育総務課	10	高校教育課	2	特支教育センター	5
職員課	2	県立高校改革室	2	県立特別支援学校	391
財務課	2	社会教育課	5	子育て支援課	10
健康教育課	5	各教育事務所	70	私学・法人課	10
特別支援教育課	5	教育センター	5	附属学校園	36
小計	24	小計	84	小計	452

850

合計 ① + ② + ③ = 10,000部

10000

(別紙2)郵送先

◆ 国機関

No.	送付箇所	部数
1	文部科学省初等中等教育局幼児教育課	5
2	こども家庭庁成育局成育基盤企画課	5

◆ 令和7年度 私立幼稚園
(幼稚園・幼稚園型認定こども園)

No.	幼稚園名	部数
1	桜の聖母学院幼稚園	5
2	福島文化幼稚園	5
3	福島文化瀬上幼稚園	5
4	めばえ幼稚園	5
5	福島めばえ幼稚園	5
6	三育幼稚園	5
7	西部三育幼稚園	5
8	みその幼稚園	5
9	福島愛隣幼稚園	5
10	さくら幼稚園	5
11	福島わかば幼稚園	5
12	飯坂恵泉幼稚園	5
13	福島わかくさ幼稚園	5
14	白百合幼稚園	5
15	福島ルンビニー幼稚園	5
16	二本松幼稚園	5
17	同朋幼稚園	5
18	二本松カトリック幼稚園	5
19	岩代幼稚園	5
20	本宮幼稚園	5
21	郡山女子大学附属幼稚園	5
22	尚志幼稚園	5
23	尚志緑ヶ丘幼稚園	5
24	郡山ザベリオ学園幼稚園	5
25	たちばな幼稚園	5
26	たちばな西幼稚園	5
27	双葉幼稚園	5
28	双葉第二幼稚園	5
29	あけぼの幼稚園	5
30	柴宮幼稚園	5
31	富久山西幼稚園	5
32	富久山幼稚園	5
33	並木幼稚園	5
34	こはらだ幼稚園	5
35	多田野幼稚園	5
36	富田幼稚園	5
37	小山田幼稚園	5
38	わかば幼稚園	5
39	田村町つつみ幼稚園	5
40	大槻中央幼稚園	5
41	開南幼稚園	5
42	東部朝風幼稚園	5
43	安積町つつみ幼稚園	5

◆ 令和7年度 私立幼稚園
(幼稚園・幼稚園型認定こども園)

No.	幼稚園名	部数
44	たから幼稚園	5
45	みどり幼稚園	5
46	大谷幼稚園	5
47	安積幼稚園	5
48	セントポール幼稚園	5
49	みらい幼稚園	5
50	須賀川幼稚園	5
51	丘の上幼稚園	5
52	白河カトリック幼稚園	5
53	学校法人西郷幼稚園	5
54	若松聖愛幼稚園	5
55	喜多方カトリック千草幼稚園	5
56	喜多方教会附属いずみ幼稚園	5
57	塩川幼稚園	5
58	田島カトリック暁の星幼稚園	5
59	いわき短期大学附属幼稚園	5
60	九品寺附属平窪幼稚園	5
61	遠野町まこと幼稚園	5
62	まこと幼稚園	5
63	入遠野まこと幼稚園	5
64	寿幼稚園	5
65	いわき幼稚園	5
66	白ばら幼稚園	5
67	ありす幼稚園	5
68	あかい幼稚園	5
69	小川幼稚園	5
70	かなや幼稚園	5
71	千鳥幼稚園	5
72	はな幼稚園	5
73	かしま幼稚園	5
74	ほうとく幼稚園	5
75	はるな幼稚園	5
76	なこそ幼稚園	5
77	明德館幼稚園	5
78	小名浜白百合幼稚園	5
79	勿来カトリック幼稚園	5
80	聖テモテ幼稚園	5
81	青葉幼稚園	5
82	原町みなみ幼稚園	5
83	中村幼稚園	5
84	原釜幼稚園	5
85	富岡幼稚園	5

◆ 令和7年度 私立小学校

学種別 No.	学校名	部数
1	桜の聖母学院小学校	16
2	郡山ザベリオ学園小学校	15
3	会津若松ザベリオ学園小学校	10
4	いわき秀英小学校	10

(別紙 3 発送先一覧)

郵送		
	郵送先	冊数
1	文部科学省	5
2	こども家庭庁	5
3	私立幼稚園	425 ※発送施設は別紙 2
4	私立小学校	51 ※発送施設は別紙 2
	合計冊数	486

													部数は施設数×5部					
市町村教委に依頼		送付部数			園数・部数													
			教育委員会	保健福祉部	公立幼稚園	部数	公立こども園	部数	公立保育園	部数	私立幼稚園	部数	私立こども園	部数	私立保育園	部数	計	
福島市	県北 教育 事務 所	福島市	3	3	10	50	3	15	11	55			13	65	33	165	356	
川俣町		川俣町	3	3	1	5	0	0	0	0			1	5	0	0	16	
伊達市		伊達市	3	3	2	10	2	10	2	10			8	40	2	10	86	
桑折町		桑折町	3	3	1	5	0	0	0	0			1	5	0	0	16	
国見町		国見町	3	3	1	5	0	0	1	5			0	0	0	0	16	
二本松市		二本松市	3	3	8	40	2	10	4	20			4	20	7	35	131	
大玉村		大玉村	3	3	2	10	0	0	0	0			0	0	1	5	21	
本宮市		本宮市	3	3	5	25	0	0	5	25			0	0	3	15	71	
郡山市	県中 教育 事務 所	郡山市	3	3	0	0	0	0	25	125			8	40	34	170	341	
須賀川市		須賀川市	3	3	2	10	5	25	2	10			10	50	3	15	116	
鏡石町		鏡石町	3	3	1	5	0	0	0	0			2	10	2	10	31	
天栄村		天栄村	3	3	2	10	0	0	1	5			0	0	0	0	21	
石川町		石川町	3	3	0	0	1	5	0	0			1	5	0	0	16	
玉川村		玉川村	3	3	0	0	0	0	0	0			1	5	0	0	11	
平田村		平田村	3	3	0	0	1	5	0	0			0	0	0	0	11	
浅川町		浅川町	3	3	1	5	0	0	1	5			0	0	0	0	16	
古殿町		古殿町	3	3	0	0	1	5	0	0			0	0	0	0	11	
田村市		田村市	3	3	5	25	0	0	4	20			1	5	1	5	61	
三春町		三春町	3	3	0	0	1	5	2	10			1	5	0	0	26	
小野町		小野町	3	3	0	0	0	0	0	0			1	5	0	0	11	
白河市		県南 教育 事務 所	白河市	3	3	8	40	0	0	5	25			4	20	3	15	106
西郷村			西郷村	3	3	1	5	0	0	0	0			0	0	4	20	31
中島村			中島村	3	3	1	5	0	0	1	5			0	0	0	0	16
矢吹町			矢吹町	3	3	4	20	0	0	0	0			0	0	1	5	31
泉崎村	泉崎村		3	3	1	5	0	0	0	0			2	10	1	5	26	
棚倉町	棚倉町		3	3	3	15	0	0	0	0			0	0	1	5	26	
塙町	塙町		3	3	2	10	0	0	1	5			0	0	0	0	21	
矢祭町	矢祭町		3	3	1	5	0	0	1	5			0	0	0	0	16	
鮫川村	鮫川村		3	3	0	0	1	5	0	0			0	0	0	0	11	
会津若松市	会津若松市		3	3	1	5	0	0	2	10			20	100	8	40	161	
磐梯町	会津 教育 事務 所	磐梯町	3	3	1	5	0	0	1	5			0	0	0	0	16	
猪苗代町		猪苗代町	3	3	0	0	2	10	0	0			0	0	0	0	16	
喜多方市		喜多方市	3	3	0	0	10	50	0	0			2	10	10	50	116	
北塩原村		北塩原村	3	3	2	10	0	0	0	0			0	0	1	5	21	
西会津町		西会津町	3	3	0	0	1	5	0	0			0	0	0	0	11	
会津坂下町		会津坂下町	3	3	2	10	0	0	1	5			0	0	0	0	21	
湯川村		湯川村	3	3	1	5	0	0	1	5			0	0	0	0	16	
柳津町		柳津町	3	3	0	0	0	0	2	10			0	0	0	0	16	
会津美里町		会津美里町	3	3	0	0	2	10	0	0			2	10	0	0	26	
三島町		三島町	3	3	0	0	0	0	1	5			0	0	0	0	11	
金山町	南会津 教育事務所	金山町	3	3	0	0	0	0	2	10			0	0	0	0	16	
昭和村		昭和村	3	3	0	0	0	0	1	5			0	0	0	0	11	
南会津町		南会津町	3	3	1	5	0	0	3	15			0	0	2	10	36	
下郷町		下郷町	3	3	0	0	0	0	2	10			0	0	0	0	16	
檜枝岐村		檜枝岐村	3	3	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	6	
只見町		只見町	3	3	0	0	1	5	2	10			0	0	0	0	21	
新地町		相双 教育 事務 所	新地町	3	3	0	0	0	0	3	15			0	0	0	0	21
相馬市			相馬市	3	3	6	30	0	0	0	0			1	5	5	25	66
南相馬市			南相馬市	3	3	3	15	1	5	2	10			4	20	5	25	81
飯館村			飯館村	3	3	0	0	1	5	0	0			0	0	0	0	11
浪江町	浪江町		3	3	0	0	1	5	0	0			0	0	0	0	11	
葛尾村	葛尾村		3	3	1	5	0	0	0	0			0	0	0	0	11	
双葉町	双葉町		3	3	1	5	0	0	0	0			0	0	1	5	16	
富岡町	富岡町		3	3	1	5	1	5	1	5			0	0	0	0	21	
檜葉町	檜葉町		3	3	0	0	1	5	0	0			0	0	0	0	11	
広野町	広野町		3	3	0	0	1	5	0	0			0	0	0	0	11	
大熊町	いわき市 教育事務所	大熊町	3	3	0	0	1	5	1	5			0	0	0	0	16	
川内村		川内村	3	3	0	0	1	5	0	0			0	0	0	0	11	
いわき市		いわき市	3	3	10	50	0	0	30	150			20	100	24	120	426	
合計冊数			177	177	92	460	41	205	121	605	0	0	107	535	152	760	2919	

県庁内関係	冊数	
教育総務課	10	
義務教育課	290	残部含む
職員課	2	
財務課	2	
健康教育課	5	
特別支援教育課	5	
高校教育課	2	
県立高校改革室	2	
社会教育課	5	
各教育事務所 (10冊ずつ)	70	
教育センター	5	
特別支援教育センター	5	
子育て支援課	10	
私学・法人課	10	
計	423	

福島大学附属		※幼稚園は 5 部		
校種	校数	部数 1	部数 2	計
幼稚園	1	5		5
小学校	1	4	20	24
特別支援	1	4	3	7
計		13	23	36

県立特別支援学校		※幼稚園有りは 5 部			支援幼稚園	5
学校名	校数	部数 1	部数 2	計		
視覚	1	5	4	9		
聴覚本校	1	5	7	12		
聴覚福島	1	5	9	14		
聴覚会津	1	5	5	10		
聴覚平	1	5	5	10		
大笹生	1	4	28	32		
だて	1	4	17	21		
あだち	1	4	9	13		
郡山	1	4	24	28		
あぶくま	1	4	27	31		
須賀川本校	1	4	6	10		
須賀川医大	1	4	2	6		
須賀川郡山	1	4	4	8		
西郷	1	4	16	20		
石川本校	1	4	8	12		
石川たまかわ	1	4	14	18		
たむら	1	4	6	10		
会津本校	1	4	29	33		
会津竹田	1	4	1	5		
猪苗代	1	4	4	8		
平	1	4	12	16		
いわき本校	1	4	33	37		
ふたば	1	4	6	10		
相馬	1	4	14	18		
計	24	101	290	391		

部数は学級数 + 4

仕分け数
※外紙に市町村名を明記

公立 小学校	部数 1	部数 2	義務	部数 1	部数 2	支援学校	部数 1	部数 2	私立 小学校	部数 1	部数 2	計	合計
40	160	518	1	4	31	1	4	11				728	1084
2	8	17	0	0	0	0	0	0				25	41
12	48	136	0	0	0	0	0	0				184	270
4	16	33	0	0	0	0	0	0				49	65
1	4	15	0	0	0	0	0	0				19	35
16	64	140	0	0	0	0	0	0				204	335
2	8	28	0	0	0	0	0	0				36	57
7	28	84	0	0	0	0	0	0				112	183
49	196	724	2	8	27	0	0	0				955	1296
16	64	178	1	4	10	0	0	0				256	372
2	8	32	0	0	0	0	0	0				40	71
4	16	18	0	0	0	0	0	0				34	55
1	4	22	0	0	0	0	0	0				26	42
2	8	18	0	0	0	0	0	0				26	37
2	8	15	0	0	0	0	0	0				23	34
1	4	12	0	0	0	0	0	0				16	32
1	4	9	0	0	0	0	0	0				13	24
7	28	73	0	0	0	0	0	0				101	162
6	24	52	0	0	0	0	0	0				76	102
1	4	17	0	0	0	0	0	0				21	32
13	52	148	0	0	0	0	0	0				200	306
5	20	54	0	0	0	0	0	0				74	105
2	8	13	0	0	0	0	0	0				21	37
4	16	42	0	0	0	0	0	0				58	89
2	8	18	0	0	0	0	0	0				26	52
4	16	32	0	0	0	0	0	0				48	74
2	8	18	0	0	0	0	0	0				26	47
1	4	13	0	0	0	0	0	0				17	33
1	4	8	0	0	0	0	0	0				12	23
17	68	230	2	8	34	0	0	0				340	501
2	8	12	0	0	0	0	0	0				20	36
2	8	24	0	0	0	0	0	0				32	48
16	64	130	0	0	0	0	0	0				194	310
2	8	9	0	0	0	0	0	0				17	38
1	4	9	0	0	0	0	0	0				13	24
2	8	32	0	0	0	0	0	0				40	61
2	8	14	0	0	0	0	0	0				22	38
2	8	10	0	0	0	0	0	0				18	34
3	12	31	1	4	18	0	0	0				65	91
1	4	4	0	0	0	0	0	0				8	19
1	4	4	0	0	0	0	0	0				8	24
1	4	4	0	0	0	0	0	0				8	19
7	28	41	0	0	0	0	0	0				69	105
3	12	16	0	0	0	0	0	0				28	44
1	4	4	0	0	0	0	0	0				8	14
3	12	14	0	0	0	0	0	0				26	47
3	12	23	0	0	0	0	0	0				35	56
9	36	91	0	0	0	0	0	0				127	193
11	44	123	0	0	0	0	0	0				167	248
0	0	0	1	4	10	0	0	0				14	25
1	4	6	0	0	0	0	0	0				10	21
1	4	3	0	0	0	0	0	0				7	18
2	8	5	0	0	0	0	0	0				13	29
1	4	7	0	0	0	0	0	0				11	32
1	4	9	0	0	0	0	0	0				13	24
1	4	8	0	0	0	0	0	0				12	23
0	0	7	1	4	0	0	0	0				11	27
0	0	8	1	4	0	0	0	0				12	23
59	236	735	0	0	0	0	0	0				971	1397
365	1460	4100	10	40	130	1	4	11	0	0	0	5745	8664
施設数												376	

子どもの育ちと学びをつなぐ



架け橋期のカリキュラム 活用リーフレット（仮）

- このリーフレットの使い方的？
- このリーフレットを使う人々へのメッセージ？
- このリーフレットへに込めた思い？

コンセプト
研修にかつようできるリーフレット

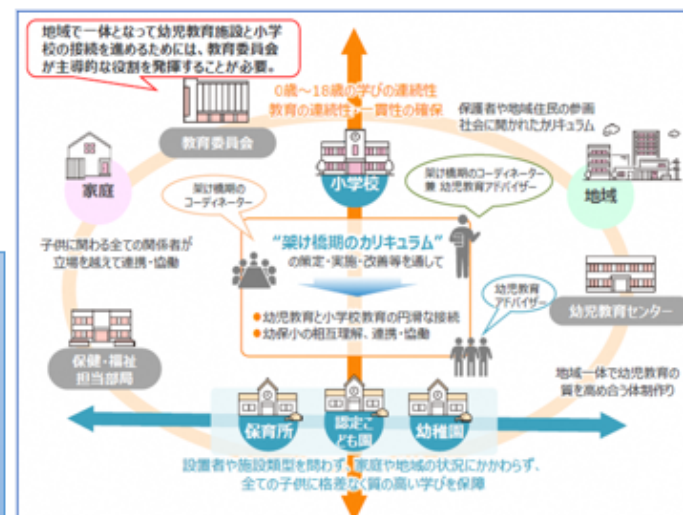
令和8年2月
福島県教育委員会

架け橋プログラムの概要

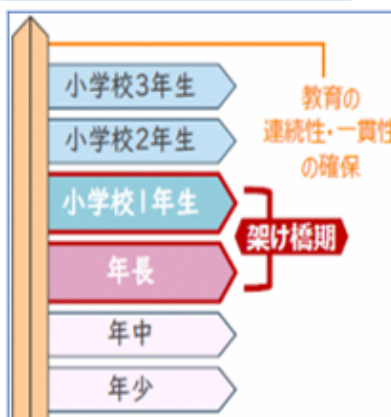
架け橋プログラムとは ※ 架け橋期…5歳児から小学校1年生の2年間

子供に関わる大人が立場を越えて連携し、架け橋期にふさわしい主体的・対話的で深い学びの実現を図り、一人一人の多様性に配慮した上で全ての孩子に学びや生活の基礎を育むことを目指したものです。

各自治体でどのような子供を育てていくか。その実現のために、子供に関わるすべての大人が協働して、架け橋期の教育を充実させることが求められている



実践に大切なこと



実践に必要なこと

体制作り
各自治体の全ての孩子に学びや生活の基盤を育むために、架け橋期の孩子たちに関わる全ての大人が協働できる体制を作ることが必要です。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

幼児期にふさわしい遊びや生活を積み重ねることにより、幼児教育において育みたい資質・能力が育まれている幼児の具体的な姿。特に5歳児後半に見られるようになる姿。到達目標ではない。

相互理解

幼児教育と小学校の先生が、保育参観や授業参観等子供の姿をもとに、子供の発達や学び、教育方法、子供への関わり方等を理解することが大切です。

発達や学びの連続性

学びの場は変わっても、子供たちの学びはつながっています。幼児教育で育まれた資質・能力の基礎を小学校の学びへ円滑に接続することが大切です。

指導方法の連続性・一貫性

「主体的・対話的で深い学び」の実現、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実のために保育改善と授業改善を行うことが大切です。

カリキュラム作成

発達や学びの連続性、指導方法の連続性・一貫性を確保するために、幼児教育と小学校の先生が協働しながら5歳児のカリキュラムと小学校1年生のカリキュラムを一体的に捉えたカリキュラムの作成が必要です。

幼児教育・小学校教育の質の向上

3要領・指針、学習指導要領にそった保育・授業を実施すること。幼児教育施設では、小学校との接続を見通した保育の実践や、小学校の学びにつながる多様な体験の保障、小学校では、教師が話す授業から聞く・見る・つなぐ授業への質的転換が必要です。



幼児教育と小学校教育をつなぐ手掛かり

フェーズ1～基盤作り～

具体化

園・小学校

- 園・小学校での活動の共有
 - 幼児教育施設、小学校で窓口や担当を決める。→体制づくり
 - 園内・校内研修、自治体が主催する研修等で架け橋期のカリキュラムの意義やねらい、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿などを研修し、全職員の共通理解を図る。→共通理解
 - 保育・授業参観、研究協議への参加等を通して、環境構成やどのようなねらいでどのようなことをしているのか、子供たちがどのような流れ(1日、月、年間)で生活しているのかを共有する。→相互理解



学区には、複数の幼児教育施設があるので、グループになっていると、交流しやすいです。

幼児教育と小学校における特有の表現やそれぞれにもイメージが異なる表現(環境、単元、教育課程、指導、教材等)について、研修会で補足説明を聞いて、理解することができました。



- 子供の交流
 - まずは行事などの機会にやってみる

近くの公園で、一緒に秋の自然物を集める等しました。



体制づくり

園・小学校

- 連携窓口の明確化
- 自園・自校の先生への意識啓発と参観

既存の研修会を活用して架け橋期について研修しました。また、接続する園と小学校のマッチングをして、連携先を明確にしました。

- 【連携強化への支援】
- 架け橋期のカリキュラム開発会議の立ち上げ(必要に応じて)

- 幼保小の合同研修回の実施

- 自治体内の関係部局との連携

先生方が安心して架け橋期のカリキュラムに取り組めるように、教育委員会と幼児教育施設を管轄している首長部局で連携しました。



フェーズ2～検討・開発～

- 共通の視点をもとに内容の検討・開発
 - 4、5ページを参考に共通の視点をもとに具体化していく。



コミュニティスクールの会議を活用して、地域や保護者の方も交えて、地区としてどのような子供を育てていきたいか、子供像について話し合いました。

共通の視点としてどのような項目がよいのか、モデル地区等の架け橋期のカリキュラムを参考に話し合って決めました。



- 人やものとの関わりを通じた学びを踏まえて、教材としての環境の共通性の理解
 - 人やものといった環境が有する、子供にとっての教育的価値に着目し、幼保小の先生方が意見交換する。

友達と話し合いながら課題を解決できるような席の配置や子供達がいつでも確認できるような学習の足跡の掲示、各教科の関連を意識した単元構成等小学校の先生もひと、もの、こと、この環境を構成していることがわかりました。



子供達のやってみたいとねらいの達成のバランスを考えながら、ひと、もの、こと、この環境を設定していることがわかりました。教師も環境の一部ということで、見守ったり、共感したり子供との関わりが勉強になりました。授業に生かしていきたいです。



- 子供の交流の推進→先生も子供も互恵性がある活動をめざして
 - 幼児や児童の活動のねらいの共通理解、活動内容の把握、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに各先生が捉えた子供の姿や先生の関わりについての意見交換等の事後打合せをする。

幼児と児童の双方が、夢中になり学びがある活動になることを大切にしました。事前の打合せでは、お互い負担がないように簡単に活動のねらいや内容をまとめたものを送付したり、オンラインを活用したりしました。



「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに見取ったことや先生の関わり方等視点をもとに、振り返ったものを後日



- 幼保小合同会議の設置

合同会議では、課題に関する協議、子供の変容や自園・自校の先生の意識の変容等を共有しました。



公開保育や授業研究会等日程の確認やお互いの役割分担と担当を明確化しました。

- 相互の教育の内容や方法に関する理解の共有

保育・授業参観、動画、ドキュメンテーション等実際の子供の姿や事例を取り上げ、架け橋期のカリキュラムの共通の視点から理解を深めていきました。



- 【接続に向けた支援】
- 研修の推進、研修教材の開発

午前中に保育を参観し、午後に架け橋期のカリキュラム検討会議を行いました。子供の姿をもとにすると、具体的にイメージができて話し合いも進みました。



- 関係機関との連携を深め、園・小学校と関係機関・関係団体との連携のコーディネート

研修会の指導・助言、講義に幼児教育研修センターを活用しました。



架け橋期のカリ

	0歳～	5歳児
共通の視点として考えられる項目例		4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3
①期待する子供像	①架け橋期を通してどのような子供を育て	
②遊びや学びのプロセス	②期待する子供像の育成に向けて、5歳児とめる。	
③園で展開される活動/小学校の生活科を中心とした各教科等の単元構想等	③期待する子供像の育成に向けて、幼児教まとめる。	
④指導上の配慮事項	先生の関わり	
	子供の学びや生活を豊かにする園の環境構成・小学校の環境づくり	
	...	
⑤子供の交流	⑤期待する子供像の育成にむけて、子供たる。互いの保育・教育に負担になり過ぎない	
⑥教職員の交流	⑥幼小連携等の会議、交流活動の事前・事後計画的に互いの保育・教育を理解していく。	
⑦家庭や地域との連携	⑦期待する子供像について、家庭や地域との活用、情報発信の方法等)	
...		

幼児教育施設と小学校の先生方が子供の姿を真ん中に話し合い、必について理解し、自分の保育・授業に取入れていきましょう。また、架け橋期のカリキュラムは作成することが目的ではありません。価値・改善をして、次年度へと継続していくことが大切です。

架け橋期のカリキュラムを貼って御活用ください！

キュラム例

	小学校 1 年生	小学校 2 年生～
	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	
たいかを決める。各自治体の掲げる子供像を踏まえるのもよい。		
・ 1 年生の発達を踏まえ、それぞれの遊びや学びのプロセスをま		
育施設の活動と小学校の各教科等の教育内容や活動のつながりを		
わり、環境の構成や環境づくりのポイントを示す。		
ちの育ちと学びにつながる互恵性のある交流活動になるようにす		
いように配慮する。それぞれの教育課程に位置付ける。		
後の打合せ、公開保育・公開授業の参観・事後研究会等を示し、		
ようにする。		
共有、連携協働するための方法等示す。（コミュニティスクール		

要な項目を考えましょう。互いの保育・教育に
せん。各自の教育課程と結び付けて活用し、評



フェーズ3～実施・検証～

具体化	体制づくり	
園・小学校	園・小学校	自治体
<p>① 園・小学校において教育課程編成・指導計画作成、実施・検証</p> <p>□ 共通の視点が保育や授業の場面でどのような指導上の配慮となって表れているのか相互理解を深める。</p> <p>架け橋期のカリキュラムを踏まえて、教育課程を編成しました。さらに、共通の視点が保育や授業の場面でどのような指導上の配慮となって表れたか園の先生と話し、相互理解を深めました。共通の視点にあった「教師の関わり」を意識して「園ではどうしてたの？」と園での経験を引き出すようになりました。</p> <p>□ 相互の教育の見方や子供の捉え方の変容等について意見交換する。</p> <p>交流の後に、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに、見取った子供の姿や先生の関わりについて意見交換しました。園の先生の話聞いて、子供の新しいよさを発見することができました。</p> <p>② 人やものとの関わりを通じた学びを踏まえ、教材としての環境の活用</p> <p>□ 人やものといった環境が、子供の発達に応じてどのような教育的価値をもち、遊びや学習の中でどう活用するかについて一緒に考える。</p> <p>生活科の「秋のおもちゃまつり」での交流では、小学校の先生と一緒に、グループ構成やどんな材料を準備するか、コーナーをどのように設置するか一緒に授業をデザインしました。</p> <p>③ 子供の交流の充実</p> <p>□ 指示が多過ぎたり、すぐに援助をしたりせず、子供同士の自発的な関わりが生まれるようにする。</p> <p>□ 活動前に、園・小学校での子供の姿を伝え合い、先生がどのような関わり方をするのかについて共通理解を図るとともに、活動後に一緒に振り返る。</p> <p>架け橋期のカリキュラムにある期待する子供像やお互いの子供の姿から、園の先生と関わり方について共通理解を図ったり、分担を確認したりすることで、一貫性をもって子供と関わるすることができました。事前に共通理解を図っていたので、ポイントを絞って短時間で一緒に振り返りができました。</p>	<p>① 幼保小合同会議の充実</p> <p>教育課程や指導計画に相互の指導の内容や方法を生かせることがないかという視点から、スタートカリキュラムやアプローチカリキュラムの見直しも行いました。</p> <p>② 相互の教育内容や方法に関する理解の深化</p> <p>保育・授業参観での気付きや疑問を気兼ねなく話合えるようになりました。</p> <p>保育や授業の展開を園と小学校で一緒に考えて交流活動をしました。</p>	<p>【幼保小の協働実施の支援】</p> <p>① 研修の充実、研修教材の活用</p> <p>研修会では、交流での振り返りから架け橋期のカリキュラムを見直し、また、実践することを通して、改善・発展への意識が持続するようにしました。</p> <p>② 実施上のニーズの把握と支援</p> <p>③ 園・小学校と関係機関・関係団体との連携コーディネート</p> <p>幼児教育研修センターの人材育成研修を活用し、架け橋期コーディネーターや園内研修リーダーを育成し、各地区の架け橋期の教育を充実させていきます。</p>

フェーズ4～持続的・発展的～

<p>① 持続的・発展的な架け橋期のカリキュラム</p> <p>□ 共通の視点等についても固定的に捉えず、子供のウェルビーングを高める視点から見直しをする。</p> <p>次年度の教育課程編成の前に、園の先生と毎年見直し改善していくPDCAサイクルが定着しています。</p> <p>② 人やものとの関わりを通じた学びを踏まえ、教材としての環境の活用の充実</p> <p>□ 環境がもつ教育的価値について、幼保小の先生と一緒に教材研究を深め、教材を開発する。</p> <p>交流を続ける中で、生活科や体育科等、園での遊びとつながりが深い単元について、小学校の先生と一緒に活動を考え、「こんなものがあったら子供たちの学びにつながりそう」という教材を作成しました。</p> <p>③ 持続的・発展的な子供の交流実施</p> <p>□ 蓄積したノウハウを整理し、事後の話し合いのポイントを検討したり、自園・自校内での共有や引継ぎを確実に行う。</p> <p>担当が異動になっても困らないように、複数名で担当する等組織化しています。</p>	<p>① 幼保小合同会議の定着</p> <p>② 相互の教育内容や方法に関する理解の改善・発展</p> <p>架け橋期のカリキュラムをもとに、接続する園・小学校での子供の学びや生活を具体的にイメージしながら、日々の保育・授業を行い、改善につなげています。</p>	<p>【持続的・発展的な取組を支える支援の定着】</p> <p>① 研修の改善・発展、研修教材の改善・発展</p> <p>② 必要な支援策の改善・発展</p> <p>③ 園・小学校と関係機関・関係団体との連携コーディネート</p> <p>架け橋期のコーディネーター等を活用しながら、ニーズに合った支援に取組んでいます。</p>
---	---	---

架け橋期のカリキュラム

架け橋期のカリキュラムとは

幼保小の先生が、共通の視点を持ちながら、相互の教育内容や教育方法の充実を図るため、協働して作成するカリキュラムのことです。

架け橋期のカリキュラムの効果

子供



- 小学校への適応能力の向上：幼児期に培った力を基に、小学校での主体的な学びや生活へスムーズに取り組むことができます。→小1プロブレムの軽減
- 学びや生活の基盤の育成：幼児期の「遊びは学び」遊びを中心とした学びを、小学校以降の「主体的・対話的で深い学び」へとつなぐための基盤となる資質・能力が育まれます。
- 充実感や自己肯定感の育成：自分のやりたいことに向かってのびのびと取り組む経験や、友達との関わりで遊びが深まる経験を通して、「できた」「わかった」という達成感や、協同的に学ぶよさを実感する一体感等が育まれます。

先生



- 相互理解の深化：幼児教育と小学校の先生が「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに協議することで、互いの教育内容や方法を理解し合い、連携が強化されます。
- 保育・授業の質の向上：相互理解が深まることで、子供の見取りやより良い環境構成、教師の関わりについて考える機会が増え、保育や授業の質の向上につながります。
- 指導における「観」の転換：相互理解が深まることで、特に小学校において、幼児期の自発的な遊びや育ちの重要性を理解し、入学直後の指導（指導観）や子供の捉え方（児童観）について再考する機会となり、子供の主体性を尊重した教育活動への転換につながります。

家庭 地域



- 安心感と協働意識の向上：園や小学校と子供の育ちの共通理解ができること、幼児教育と小学校との連携が明確に見えることにより、就学や進学・進級への不安が軽減するとともに、園や学校への安心感・信頼感につながります。また、共通理解を通して、家庭での子供の主体性を尊重した声掛けや活動を促進できます。
- 地域全体での子育て環境の醸成：地域の方や施設が、架け橋期の活動の「先生」や「場」として参画し、教育活動の幅が広がります。また、架け橋期の教育がカリキュラムによって地域に開かれることで、地域全体で子供たちを見守り、支えるという意識の高まりも期待できます。子供たちは、地域と継続的に関わるきっかけとなり、地域への愛着が育まれます。

つながりを可視化したのが架け橋期のカリキュラム

架け橋期のカリキュラムの作成を通して、相互の教育内容や教育方法を理解し、充実していくことが大切です。そのためには、学区の幼児教育施設でどんなことをしているのか。子供の育ちと学び、先生たちの保育の様子を知る必要があります。

1つの小学校に複数園から入学する場合もあります。学区の幼児教育施設同士が連携・協働して、保育を充実していくことが大切です。

社会に開かれた教育課程の視点から、保護者や地域の方々への情報発信や共有、関係機関との連携も考えていくことも大切です。

たての
つながり

よこの
つながり

まわりとの
つながり

スタートカリキュラム・アプローチカリキュラムとの関連

架け橋期のカリキュラムは、2年間を見通したものに対して、スタートカリキュラム・アプローチカリキュラムは、卒園・入学の1か月程度のカリキュラムです。入学してすぐという、連携・接続の一番大切な部分を担うカリキュラムになります。架け橋プログラムの実現のために、架け橋期のカリキュラムの内容と照らし合わせて、子供たちが、幼児教育で育まれた力を安心して発揮できる環境になっているか見直すことが大切です。

各モデル地区の実践例

喜多方市

- 既存の会議を活用し、幼小の相互理解に関わる機会を保障
- 幼児教育施設同士の連携をもとにした小学校との交流



合同保育を実施することで、学区の幼児教育施設の保育が充実しました。

- 架け橋期のカリキュラムをもとに、小学校区ごとにアプローチカリキュラム、スタートカリキュラムの見直し・改善



入学前の子供たちの育ちと学びを理解することで、より子供に寄り添ったスタートカリキュラムに改善することができました。

田村市

- 事前の打合せと事後の振り返りによる交流の充実



場の設定や教師の関わり等、園の先生と一緒に授業を考えました。当日は、1年生も園児と一緒に主体的に学習に取り組む、ねらいを達成することができました。

- コミュニティスクールを活用して、架け橋期のカリキュラムを地域や保護者とも共有



保護者の方とも架け橋期のカリキュラムについて共有しました。話合いの結果を架け橋期のカリキュラムにも反映していこうと思います。

各モデル地区の詳しい取組は、こちらを御覧ください。

南相馬市

- 年間を通して計画的な実践とカリキュラムの見直し
- 地域の実態に応じて各中学校区での架け橋期のカリキュラムの作成



中学校区ごとに考えることで、地域の実態に即した架け橋期のカリキュラムになりました。

- 架け橋期だけでなく、その前後の年齢との発達のつながりを共有



0歳児からの発達と学びの連続性を意識して保育に取り組んでいます。

【架け橋期のことがよくわかる文献等】

問い合わせ先
ふくしま幼児教育研修センター

福島市瀬上町五月田16番地 024-554-1808